



2024年4月26日

各位

上場会社名 中部電力株式会社
代表者 代表取締役社長 林 欣吾
(コード番号 9502)
問合せ先責任者
経営管理本部決算グループ長 坪内 優和
(TEL 052-951-8211)

通期連結業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

2024年3月期通期の連結業績と前期実績値との差異につきまして、お知らせいたします。

記

2024年3月期通期連結業績の前年度実績との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
前期実績(A) (2023年3月期)	百万円 3,986,681	百万円 107,089	百万円 65,148	百万円 38,231	円 銭 50.56
当期実績(B) (2024年3月期)	3,610,414	343,339	509,295	403,140	533.17
増減額(B-A)	△376,267	236,250	444,146	364,908	
増減率(%)	△9.4	220.6	681.7	954.5	
(ご参考) 前回発表予想(C)	3,650,000		410,000	330,000	436.44
増減額(B-C)	△39,585		99,295	73,140	
増減率(%)	△1.1		24.2	22.2	

業績差異の理由

連結収支の状況につきましては、連結売上高(営業収益)は、燃料費調整額(燃調収入)等の減少などから、前連結会計年度と比べ9.4%減少し3兆6,104億円となりました。

連結経常損益は、燃料価格等の変動が電力販売価格に反映されるまでの期ずれについて差損から差益に転じたことや、中部電力ミライズにおける電源調達価格の低下、中部電力パワーグリッドにおける需給バランス調整などを適切に実施するための調整力確保費用の減少などから、前連結会計年度と比べ7.8倍増の5,092億円の利益となりました。

なお、期ずれを除いた連結経常損益は、3,710億円程度の利益と、前連結会計年度と比べ2,150億円程度の増益となりました。

また、政策保有株式の一部を売却したことなどにより有価証券売却益92億円を特別利益に計上し

た一方、子会社における固定資産の減損損失 126 億円や独占禁止法関連損失 26 百万円を特別損失に計上しました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純損益は、前連結会計年度と比べ 10.5 倍増の 4,031 億円の利益となりました。

詳細につきましては、本日開示しております「2024 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以 上